



遊樂
pleasure

5 基本目標

岩内町産業振興プランでは、戦略の方向性と数値目標を踏まえ、「活気あふれるまちづくり」の実現のため、3つの「基本目標」を設定します。基本目標毎に「基本的な方向性」を示し、ハード・ソフト事業を整備する施策及び事業を展開します。これらの活動は、SDGs※6に基づく持続可能な社会の実現にも寄与していく取り組みとして促進していきます。

岩内町産業振興プラン 基本目標の3本柱



※6 SDGs（持続可能な開発目標）とは、平成27年（2015年）に国連で採択された、令和12年（2030年）までに達成を目指す「持続可能でより良い社会を実現するための17の目標」のことです。これらの目標は、経済、社会、環境といったさまざまな面から、すべての人々が豊かに、そして持続的に生活できる世界を作るための道しるべとなり、多様な団体・組織との連携する軸になっています。

1 人を呼び込む 食と観光



方向性 観光における「食」の関心は高いことから、ニシンやスケトウダラで栄えた歴史ある漁師町としての食文化や、アスパラガスの発祥や野生ホップの発見などの歴史的ストーリーを活かした「食」に「観光」を掛け合わせ、札幌圏などの観光客やインバウンド客をターゲットとして、観光客を呼び込んでいきます。



漁師町の海の幸



クラフトビール

数値目標	宿泊観光客数	令和5年度(2023年度)	令和11年度(2029年度)	令和16年度(2034年度)
		76.4千人	80.2千人 令和5年度比 105%	84.0千人 令和5年度比 110%

2 海、山、市街地の魅力づくり 各拠点整備



方向性 巡りやすいコンパクトな町を活かし、呼び込んだ観光客を周遊させるための海、山、市街地での拠点整備を行い、賑わいの創出に向けた来訪動機となるような魅力づくりや情報発信を進めていきます。



道の駅いわない



日本夜景遺産認定 円山エリア

数値目標	日帰り観光客数	令和5年度(2023年度)	令和11年度(2029年度)	令和16年度(2034年度)
		261.4千人	303.1千人 令和5年度比 116%	409.4千人 令和5年度比 157%

3 滞在時間を延ばし観光消費額を増加 周遊・回遊



方向性 海、山、市街地などの各拠点における観光客の周遊・回遊を高めながら、町内での滞在時間を延ばし、観光消費額の増加を目指します。また、町の知名度や認知度の向上を図りながら、関係人口の創出・拡大に繋げていきます。



美術館



市街地商店

数値目標	一人当たり 生産(付加価値額)	令和2年度(2020年度)	令和11年度(2029年度)	令和16年度(2034年度)
		2,548千円	2,806千円 令和2年度比 110%	2,915千円 令和2年度比 114%



数値目標	一人当たり 平均課税対象所得	令和4年度(2022年度)	令和11年度(2029年度)	令和16年度(2034年度)
		2,680千円	2,753千円 令和4年度比 103%	2,894千円 令和4年度比 108%



6 アクションプラン

岩内町産業振興プランでは「食と観光 ～人を呼び込む～」 「各拠点整備 ～海、山、市街地の魅力づくり～」 「周遊・回遊 ～滞在時間を延ばし観光消費額を増加～」 の3つの基本目標を推進させる重点事業として、港湾、円山、市街地のエリア別に拠点を整備し、地域全体に経済効果を波及させる事業を推進します。併せて、15のアクションプランも検討を進めていきます。

重点事業の全体像

札幌から車で約60分、北海道新幹線倶知安駅から車で約30分に！

高低差約1,000m、北海道の海、山、人の幸が コンパクトに集結する魅力的な港町へ

9つの重点事業

極上のリゾートエリアを高度化

- 重点① 「レクリエーションの森」整備事業
- 重点② 円山エリア高付加価値化事業

周遊・回遊機能を整備

- 重点⑥ まち魅力・情報発信事業
- 重点⑦ ナイトタイムエコノミー推進事業

賑わい溢れる マリンスポット創出

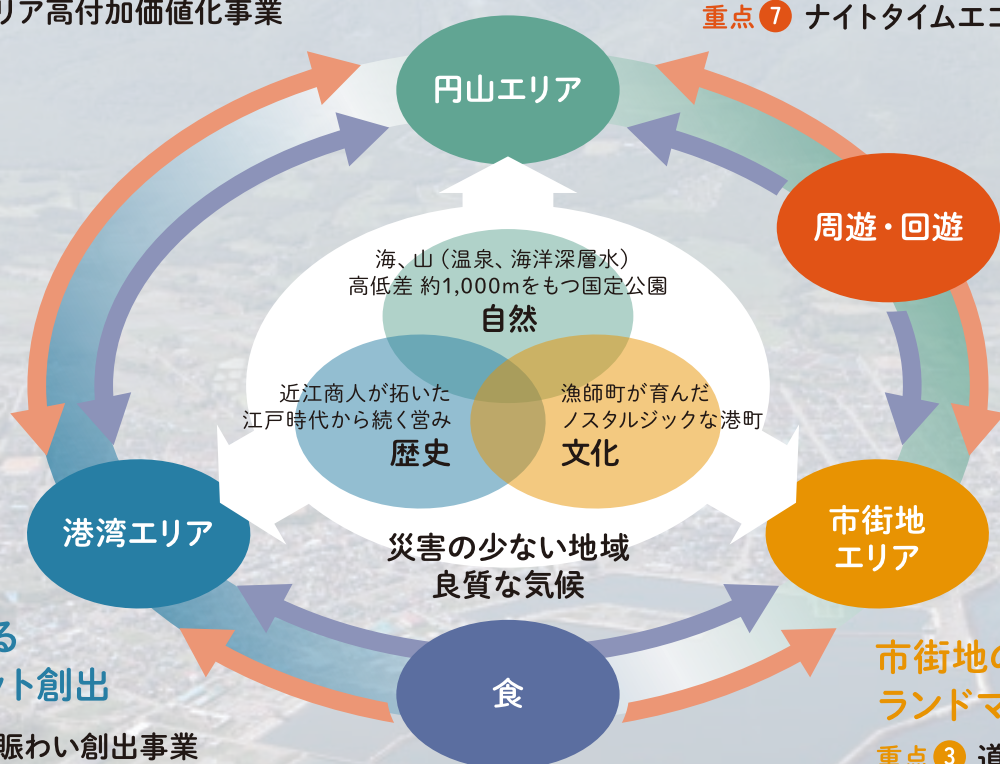
- 重点④ 海辺の賑わい創出事業
- 重点⑤ マリンプラン策定事業

市街地の ランドマーク整備

- 重点③ 道の駅再整備事業

歴史とストーリーを活かした 食のまち・いわないのブランド化

- 重点⑧ ブランド産品推進事業
- 重点⑨ 食のまち育成事業



重点事業と基本目標の関係

重 点 事 業		基本目標		
		食と観光	各拠点整備	周遊・回遊
円山エリア	重点①「レクリエーションの森」整備事業	●	●	
	重点② 円山エリア高付加価値化事業	●	●	
市街地 エリア	重点③ 道の駅再整備事業	●	●	
港湾エリア	重点④ 海辺の賑わい創出事業	●	●	
	重点⑤ マリンプラン策定事業		●	
周遊・回遊	重点⑥ まち魅力・情報発信事業			●
	重点⑦ ナイトタイムエコノミー推進事業			●
食	重点⑧ ブランド産品推進事業	●		
	重点⑨ 食のまち育成事業	●		

6-1 重点事業

円山エリア

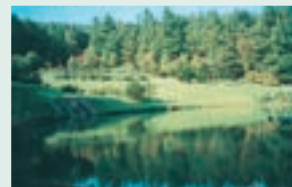
宿泊客・観光客を増加 極上のリゾートエリアを高度化

重点①「レクリエーションの森」整備事業

レクリエーションの森の整備によるアウトドア・スポーツの振興等

筍山のレクリエーションの森でアウトドア・スポーツを気軽に楽しむための環境整備を実施し、利用者の誘客やカーボンニュートラルの実現に向けた森林活用・管理のための取組

●関係団体等／町、国、北海道、観光協会、円山連携会議等



森林公園

重点② 円山エリア高付加価値化事業

IWANAI RESORT開発への支援や円山エリアの魅力発信への取組

リゾート開発への連携・支援、自然や温泉を呼び水とした集客など、高付加価値化を図り、食と観光をブランディングしていく取組

●関係団体等／町、観光協会、円山連携会議等



いわない温泉

市街地エリア

観光客・生活圏域を呼び込む 市街地のランドマーク整備

重点③ 道の駅再整備事業

市街地の中心拠点としての道の駅の再整備

立地場所	現在の道の駅周辺の中心市街地	
施設規模	基本設計で具体化	
主な施設機能	物販スペース、産直スペース、サイネージエリア、トイレ、駐車場、交流・イベント広場、物品保管庫ほか	
スケジュール	令和7年度	専門的検討組織設置
	令和8年度	基本設計
	令和9年度	実施設計
	令和10～11年度	着工
	令和11～12年度	開業

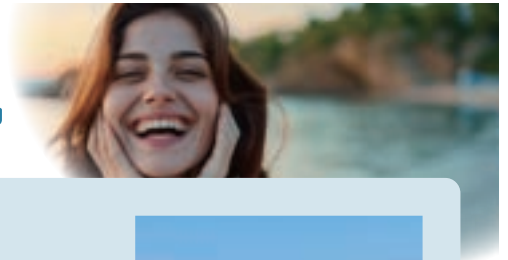


道の駅いわない

●関係団体等／町、観光協会、商工会議所、商店街連合会、民間企業等

港湾エリア

港の価値を創出 賑わい溢れるマリンスポット創出



重点④ 海辺の賑わい創出事業

港ふれあい・観光物流拠点ゾーンの賑わいの創出

令和6年度（2024年度）に開設したビーチを中心に、新港地区緑地公園を利用するなどの更なる賑わい創出に向けた取組

- 関係団体等／町、海水浴場管理組合等



いわないマリンビーチ

重点⑤ マリンプラン策定事業

港湾エリアの活用検討

物流、クルーズなどの観光振興、洋上風力（O&M港※7）、みなとオアシス※8、漁業振興などに関するプランの策定

- 関係団体等／町、国、漁業協同組合、民間企業等



特定地域振興重要港湾 岩内港

周遊・回遊

観光客の消費額と満足度を向上 周遊・回遊機能を整備



重点⑥ まち魅力・情報発信事業

まちの魅力や情報を発信して、回遊性を高める取組

デジタルサイネージ、デジタル観光マップなどを活用し、来訪者の回遊性を高め、滞在時間を延ばし、観光消費額を増加させていく取組

- 関係団体等／町、観光協会等



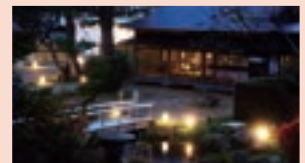
デジタル観光マップ

重点⑦ ナイトタイムエコノミー推進事業

夜のまちの周遊と観光消費額増加を促進する取組

町の地域資源である夜景や日本庭園含翠園のライトアップ、夜桜通り、飲食街の周遊を促進し、ナイトタイムの食と観光による観光消費額を増加させる取組

- 関係団体等／町、観光協会、円山連携会議、社交飲食組合等



明治の文化を伝える
日本庭園「含翠園」

※7 「O&M港」とは、洋上風力発電所の運転及び保守に関するサポートを提供する保守・管理拠点港のことです。

※8 「みなとオアシス」とは、地域住民の交流や観光振興を通じ、「みなと」を核とした地域振興の取り組みが行われる施設のことです。

食

おいしい岩内町のイメージづくり 歴史とストーリーを活かした 食のまち・いわないのブランド化

重点⑧ ブランド産品推進事業

ストーリーによる食の魅力発信

ホワイトアスパラガス、ホップ、酒米など、歴史的ストーリーや地場にこだわった素材を活かした魅力ある食づくりへの取組

- 関係団体等／町、生産者等



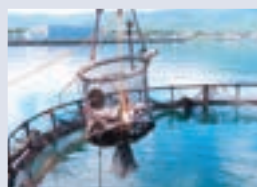
ホワイトアスパラガス

重点⑨ 食のまち育成事業

ご当地グルメ「Sea級グルメ」開発事業

岩内Sea級グルメグランプリの開催及び受賞メニューの販売促進などへの取組

- 関係団体等／町、飲食店、社交飲食組合、商工会議所、観光協会等



岩内サーモン



たらこ

6-2 その他のアクションプラン

重点事業以外のアクションプランについては、次の事業の検討を進めていきます。

No	事業名及び内容	期待する効果	関係団体等
1	観光大使（インフルエンサー・アンバサダー等）による情報発信事業 影響力のある方等の情報発信で町の知名度・認知度を上げていく取組	知名度・認知度の向上	町 観光協会等
2	マイス MICE促進事業 スポーツ大会の誘致や怒涛まつりでの花火大会等で町の知名度・認知度を上げていく取組	知名度・認知度の向上	町 団体等
3	ふるさと納税拡大戦略による情報発信事業 ふるさと納税の推進による関係人口の創出・拡大、魅力発信に繋げていく取組	関係人口の創出・拡大	町 民間企業等
4	コネクション推進事業 東京ふる里岩内会など町に縁のある方々との関わりによる新たな関係人口の創出・拡大に繋げていく取組への連携・支援	関係人口の創出・拡大	町 東京ふる里岩内会等
5	生活圏域内消費促進事業 人流調査の結果等から、蘭越町等への広告戦略による生活圏域からの消費取り込みに対する取組への連携・支援	生活圏域内の消費促進	町 商工会議所 商店街連合会等
6	外国人労働者受入環境支援事業 事業者への受入環境の理解促進や外国人技能実習生等の生活支援・居住者との交流などに対する取組への連携・支援	外国人労働者の確保	町 国 北海道 商工会議所 民間企業等
7	地元就業教育推進事業 学校への企業情報の提供による生徒へのアプローチや、インターンシップの実施による地元及び近隣企業への就業体験教育の充実による人材確保・発掘への取組に対する連携・支援	地元企業の人材確保	町 教育機関 民間企業等
8	マッチング伴走支援事業 後継者不在の事業者へのマッチング等に対する連携・支援	後継者不足対策に対する連携・支援	町 商工会議所 金融機関等
9	DX・設備投資推進事業 DXや設備投資に伴う各種補助金活用に関する連携・支援	労働生産性向上に向けた連携・支援	町 国 商工会議所等

No	事業名及び内容	期待する効果	関係団体等
10	移住・定住促進事業 住みやすい環境づくりの整備による移住・定住を促進していく取組	移住・定住の促進	町等
11	いわない温泉ブランディング事業 円山連携会議での官民連携によるいわない温泉のブランディングに向けた取組	温泉による観光振興への取組	町 円山連携会議等
12	体験型観光推進事業 雷電エリアなど自然を活かした体験型観光開発に対する連携・支援	体験型の観光振興への取組	町 観光協会 民間企業等
13	まちやど促進事業 空き家から民泊等への転換を図り、宿泊施設不足の地域課題の解決を目指す取組への連携・支援	地域課題の空き家対策への取組	町 民間企業等
14	オートキャンプ場マリレビュー増設事業 繁忙期に不足しているテントサイトの増設など、宿泊客数の増加を目指す取組	グリーンシーズンの宿泊客数増加への取組	町等
15	サーモン養殖実証試験事業 トラウトサーモン養殖の実証試験や企業誘致による新産業へのチャレンジ、加工原料の安定確保への取組	水産資源の確保に向けた取組	町 漁業協同組合 民間企業等

7 推進体制

岩内町産業振興プランは、町の重要な計画のひとつとして、「岩内町主要計画進行確認チーム（仮称）」でPDCAサイクルにより進捗管理を行っていきます。そのなかで、計画の修正など重要な事項が生じたときは、「岩内町経営戦略会議」に諮りながら、本プランを進めていきます。

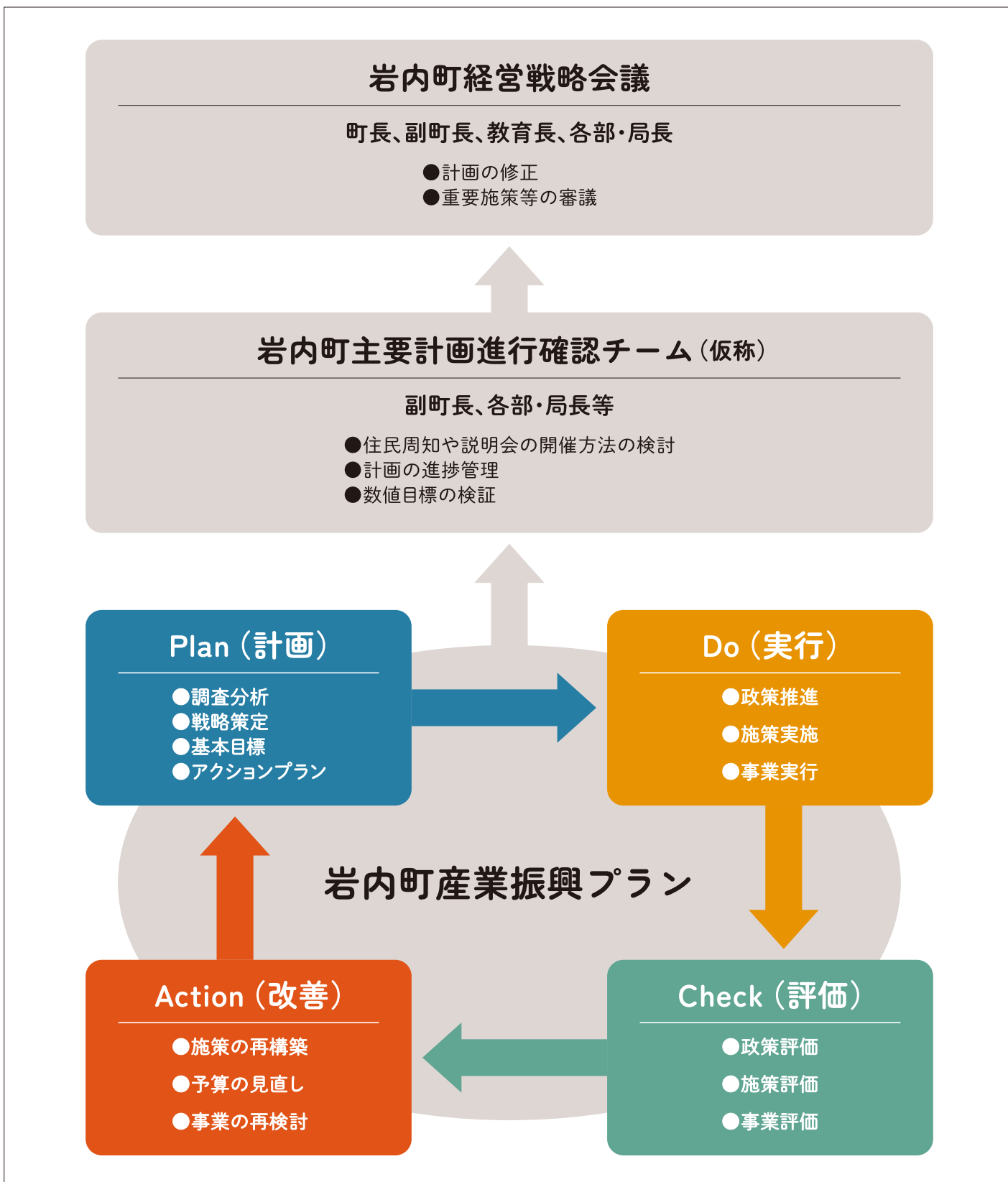


図 11 推進体制

策定メンバー

岩内町産業振興プランは、関係機関・団体で構成する検討会と、役場の管理職等で構成する作業部会で検討を進めました。

岩内町産業振興プラン検討会委員（令和6年4月現在）

（敬称略）

No	関係機関・団体名	職	氏 名	備 考
1	岩内商工会議所	会頭	清水 智	
2	岩内観光協会	会長	永井 恵亮	
3	岩内郡漁業協同組合	専務理事	池田 光行	
4	岩内町農業委員会	委員	長谷川 喜良	
5	いわない商店街連合会	会長	加藤 三博	
6	北海道社交飲食生活衛生同業組合岩内支部	支部長	西田 正信	
7	岩内町地域公共交通活性化協議会	委員	荒井 征人	ニセコバス(株) 取締役総務部長
8	岩内海産商協同組合	理事長	土門 修	
9	円山連携会議	委員	グライナー・ジョン	Yuki Kamui(株) 代表取締役
10	岩内商工会議所	会員推薦者	石塚 貴洋	石塚水産代表
11	岩内商工会議所	会員推薦者	田中 章仁	田中章仁司法書士 事務所所長
12	岩内観光協会	会員推薦者	高島 将人	(株)カルチャー ヴィレッジ代表取締役
13	岩内観光協会	会員推薦者	辻 庄一郎	カブト石材工業(株) 代表取締役
14	岩内町	建設経済部長	佐藤 博樹	
15	岩内町	建設経済部次長	近藤 剛	

岩内町産業振興プラン策定作業部会構成員（令和6年4月現在）

No	所 属 等	氏 名	主な関係事項
1	企画財政課長	斉藤 仁志	財政全般
2	企画財政課企画担当課長	草嶋 雄一	総合振興計画、総合戦略、 地域公共交通計画、SDGs
3	町民生活課長	勝間 慶嗣	地域公共交通、ゼロカーボンビジョン
4	水産農林課長	菊地 貴之	水産農林業
5	都市整備課長	土居 建郎	立地適正化計画
6	建設課長	長谷川 忠司	港湾・工業団地
7	地場産業サポートセンター所長	釜谷 豊和	産業全般
8	地域活性化起業人	信夫 太志	まちづくり推進マネージャー
9	地域活性化起業人	麦山 幸男	観光DX推進マネージャー

事務局

No	所 属 等	氏 名
1	観光経済課長兼産業活動支援係長	綿谷 英視
2	観光経済課主幹兼観光係長	中村 将
3	観光経済課商工振興係長	荒木 智弘
4	観光経済課産業活動支援係	釜谷 承吾
5	観光経済課産業活動支援係（兼務）	加藤 雄太

8 資料編

8-1 岩内町の人口推計

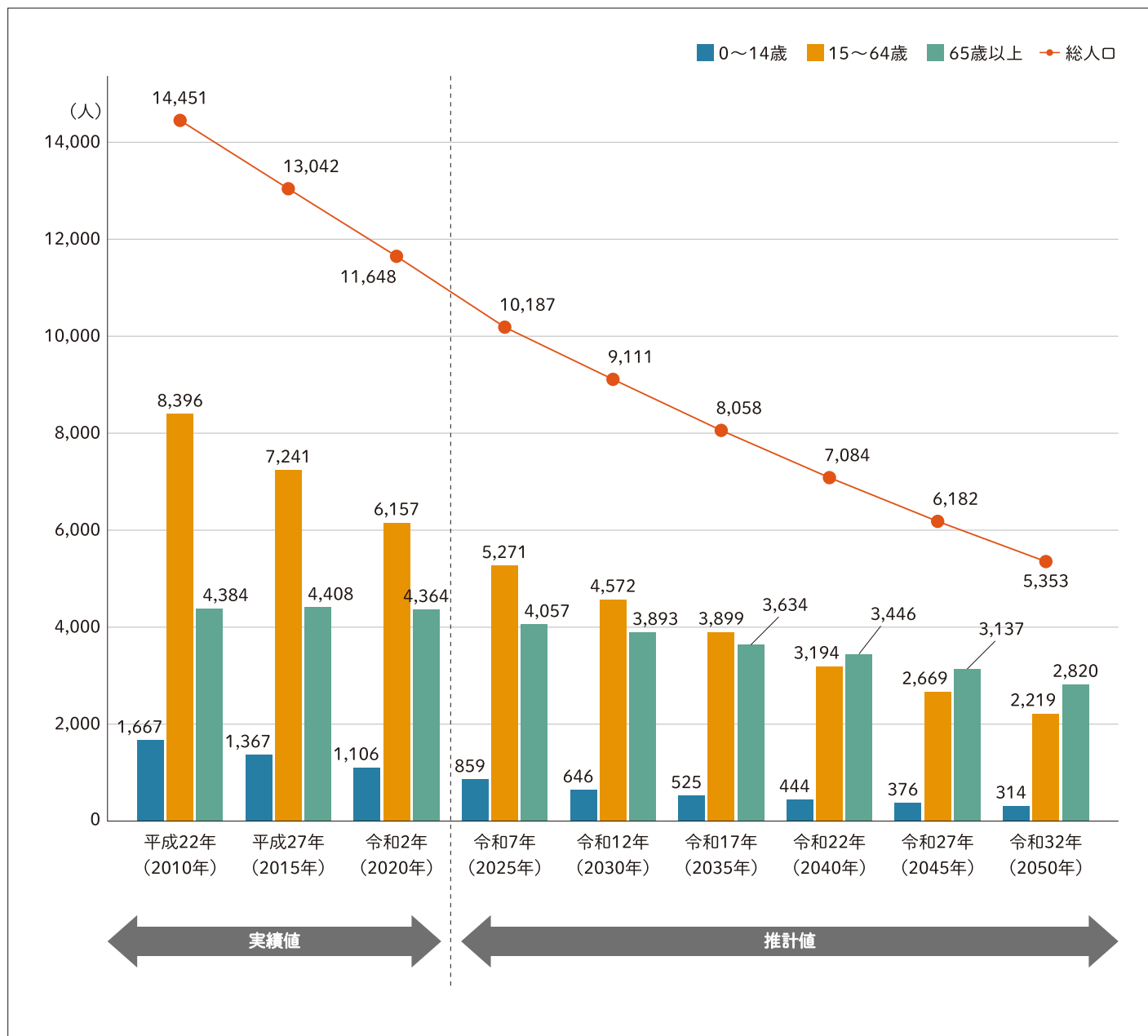


図 12 岩内町の人口推移

出典：都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系、令和2年（2020年）まで実績値）、国立社会保障・人口問題研究所、将来の地域別男女5歳階級別人口の予測値（各年10月1日時点の推計値）

8-2 後志管内の市町村の地域経済循環率

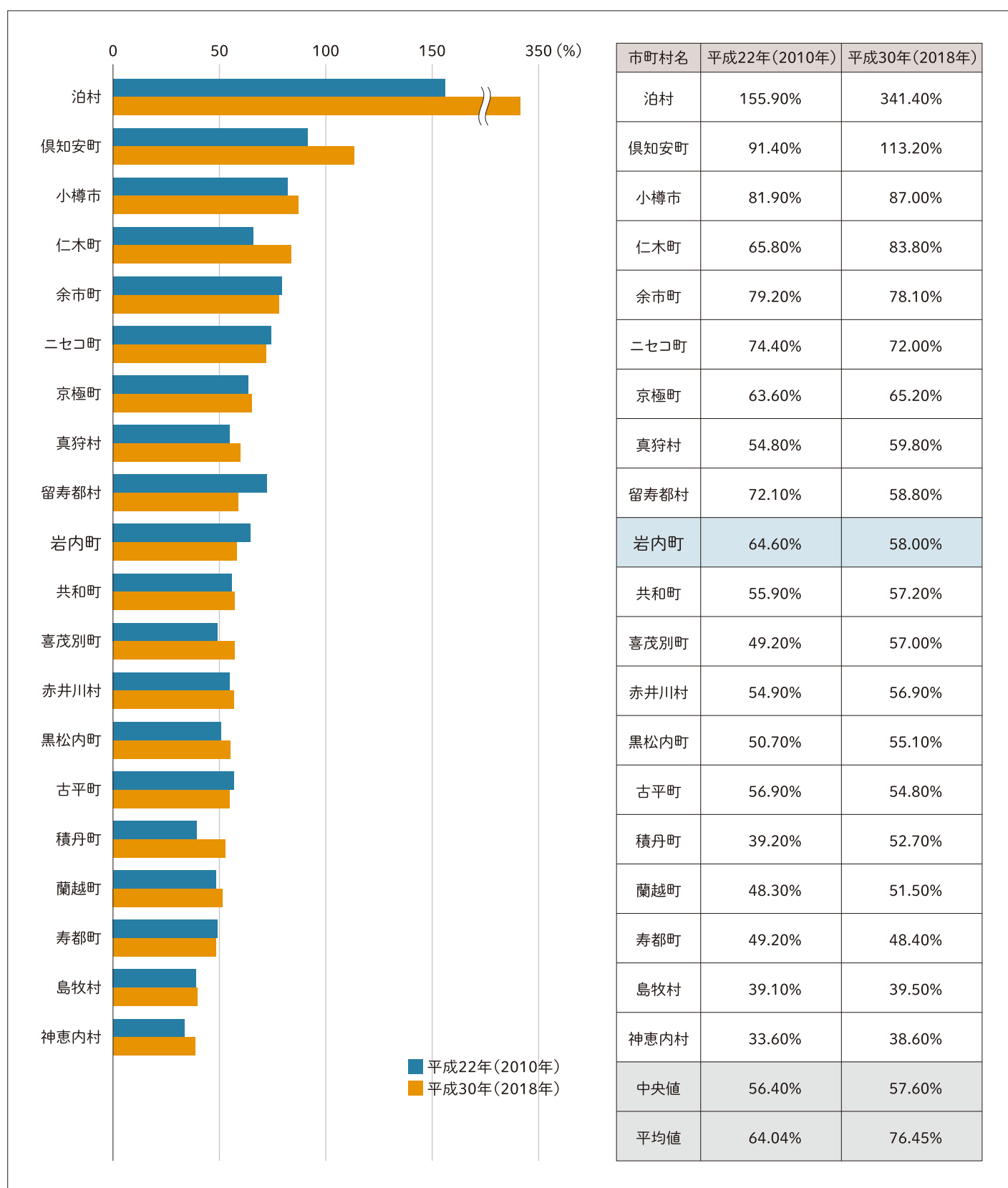


図 13 後志管内の市町村別地域経済循環率

出典：環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

8-3 後志管内の市町村産業推移

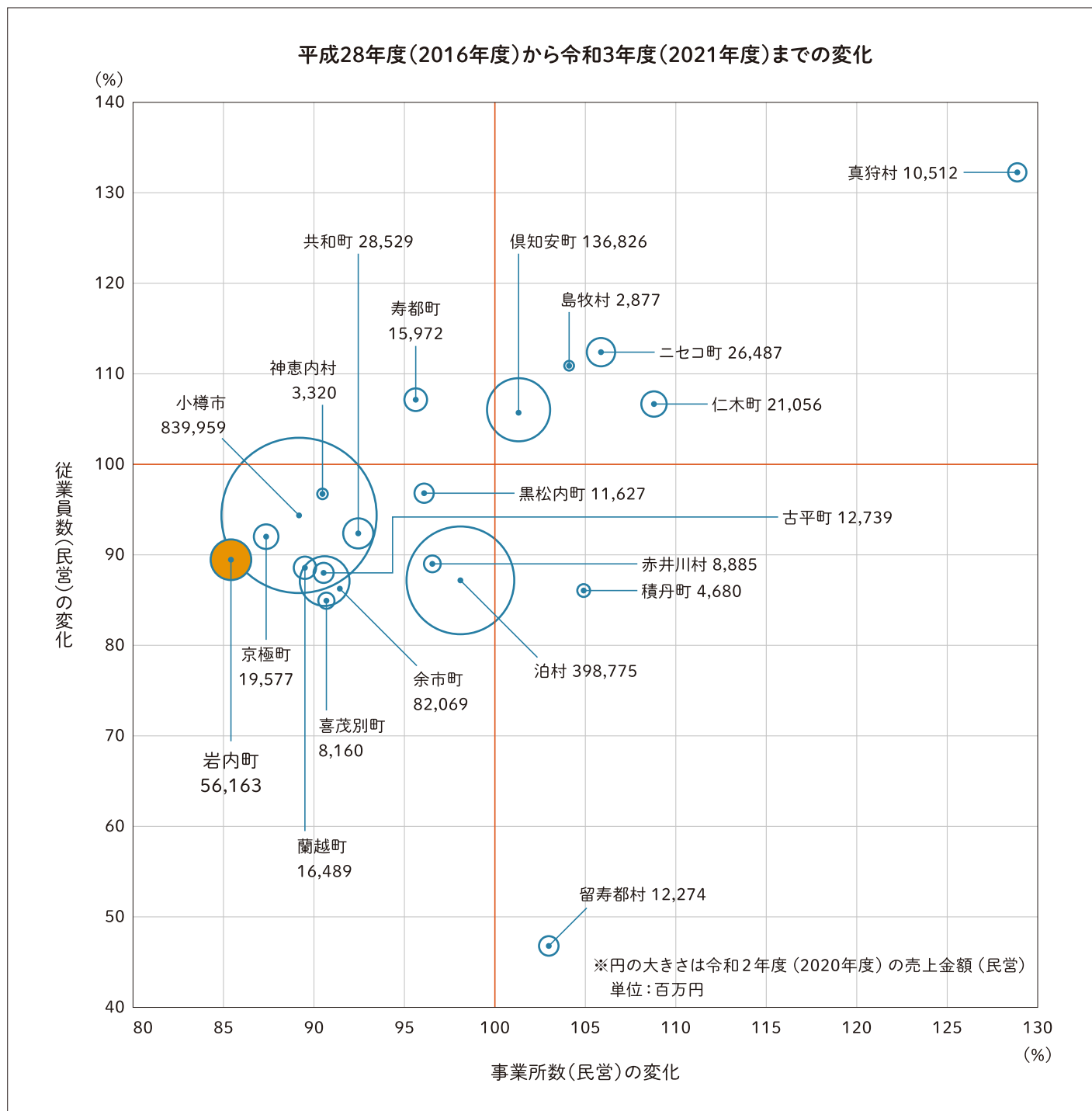


図 14 後志管内の市町村産業推移

出典: 都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)

8-4 就業者一人当たりの平均課税対象所得

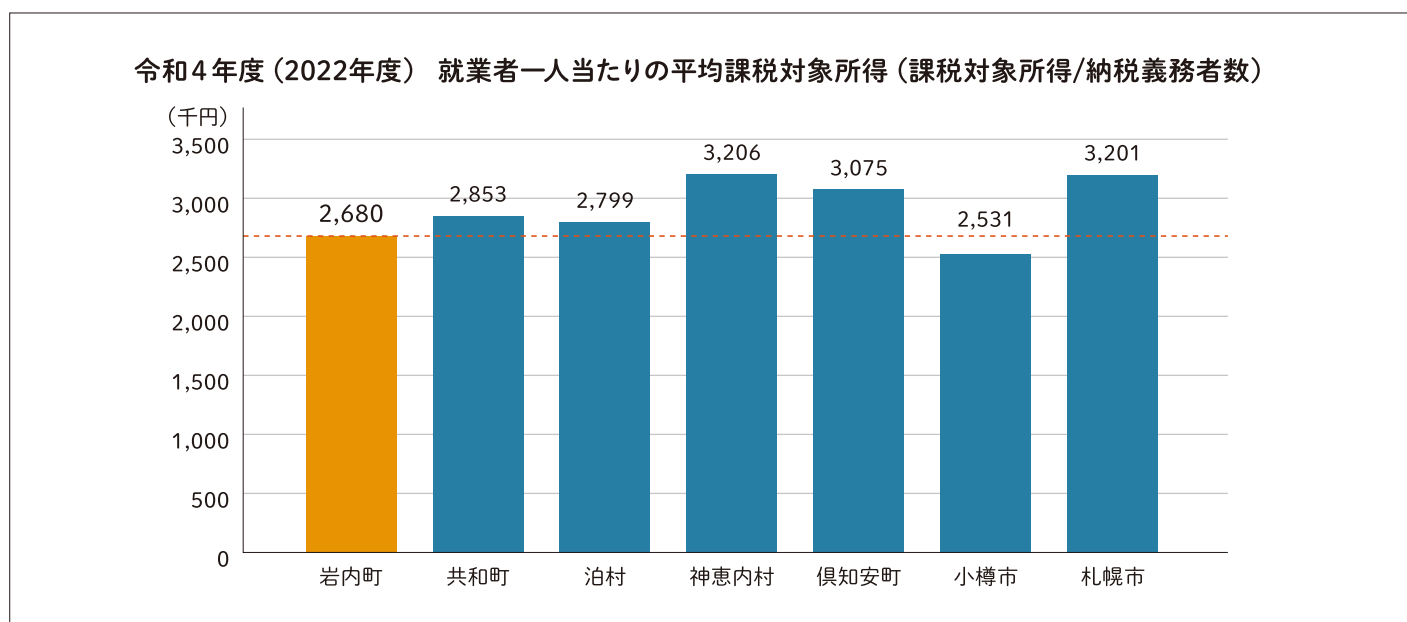


図 15 岩内町と周辺の主な市町村の就業者一人当たりの平均課税対象所得

出典：都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

8-5 近隣市町村との通勤・通学の流出入人口の状況



図 16 岩内町からの通勤・通学の流出入人口

出典：令和2年（2020年）国勢調査（総務省統計局）

8-6 岩内町の人流

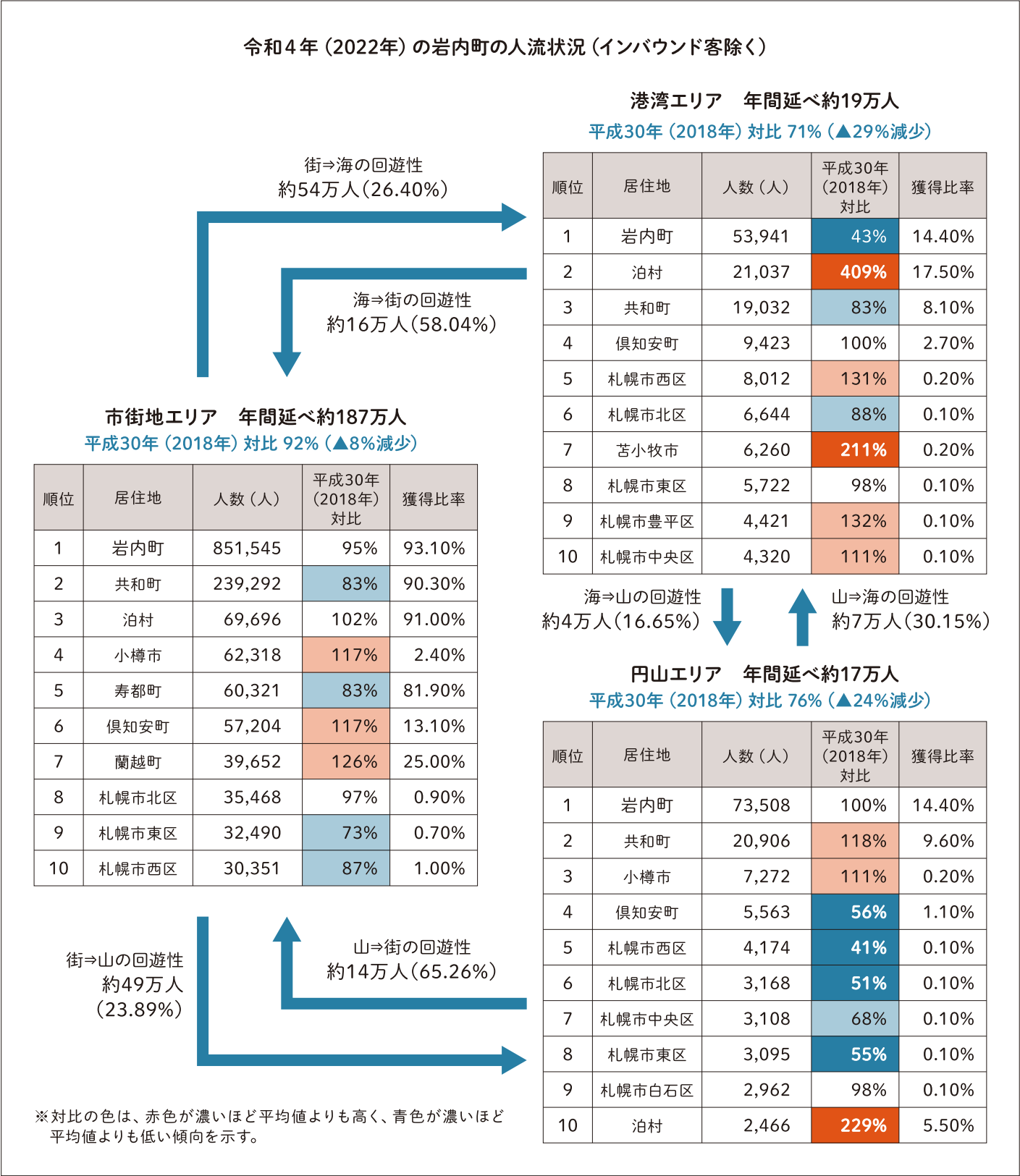


図 17 岩内町の人流

出典：岩内町人流動態調査、「KDDI Location Analyzer」による測定値。平成30年（2018年）は、平成30年（2018年）10月1日～令和元年（2019年）9月30日、令和4年（2022年）は、令和4年（2022年）10月1日～令和5年（2023年）9月30日で測定した数値です。

8-7 岩内町の観光入込客数

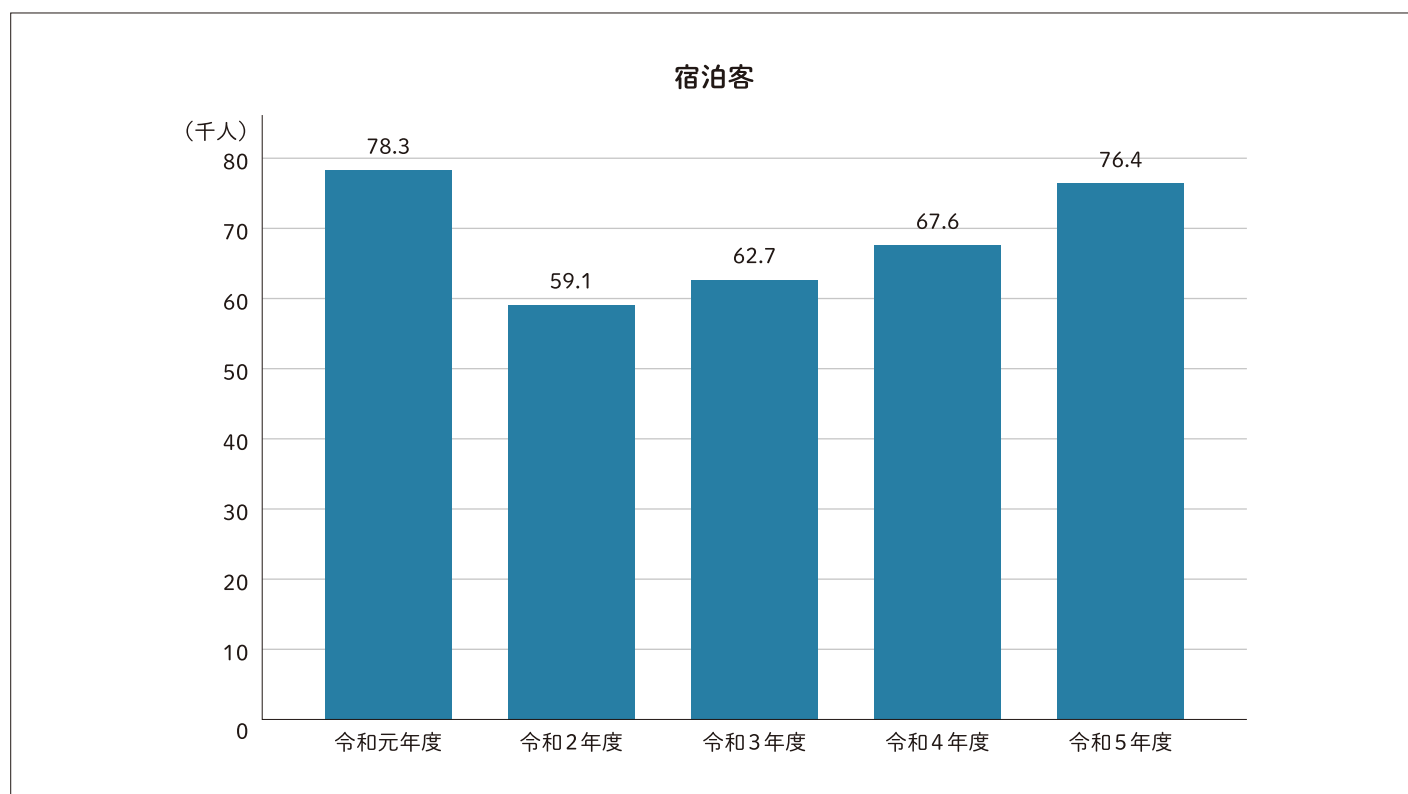


図 18 岩内町の宿泊客数

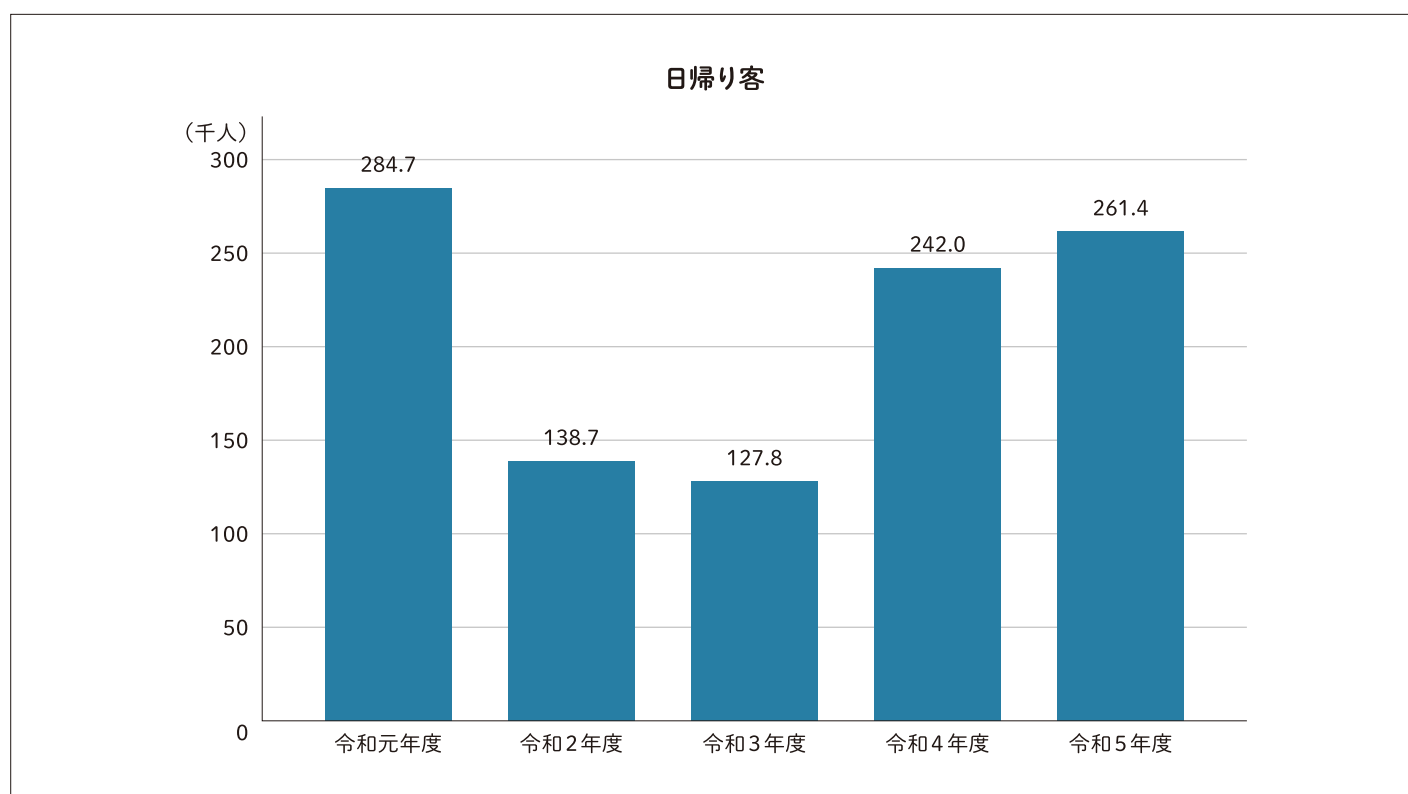


図 19 岩内町の日帰り客数

出典：後志総合振興局管内観光入込客数調査データ

8-8 高規格幹線道路延伸に伴う観光入込客数の変化

余市ICは、平成30年（2018年）12月8日に開通しました。

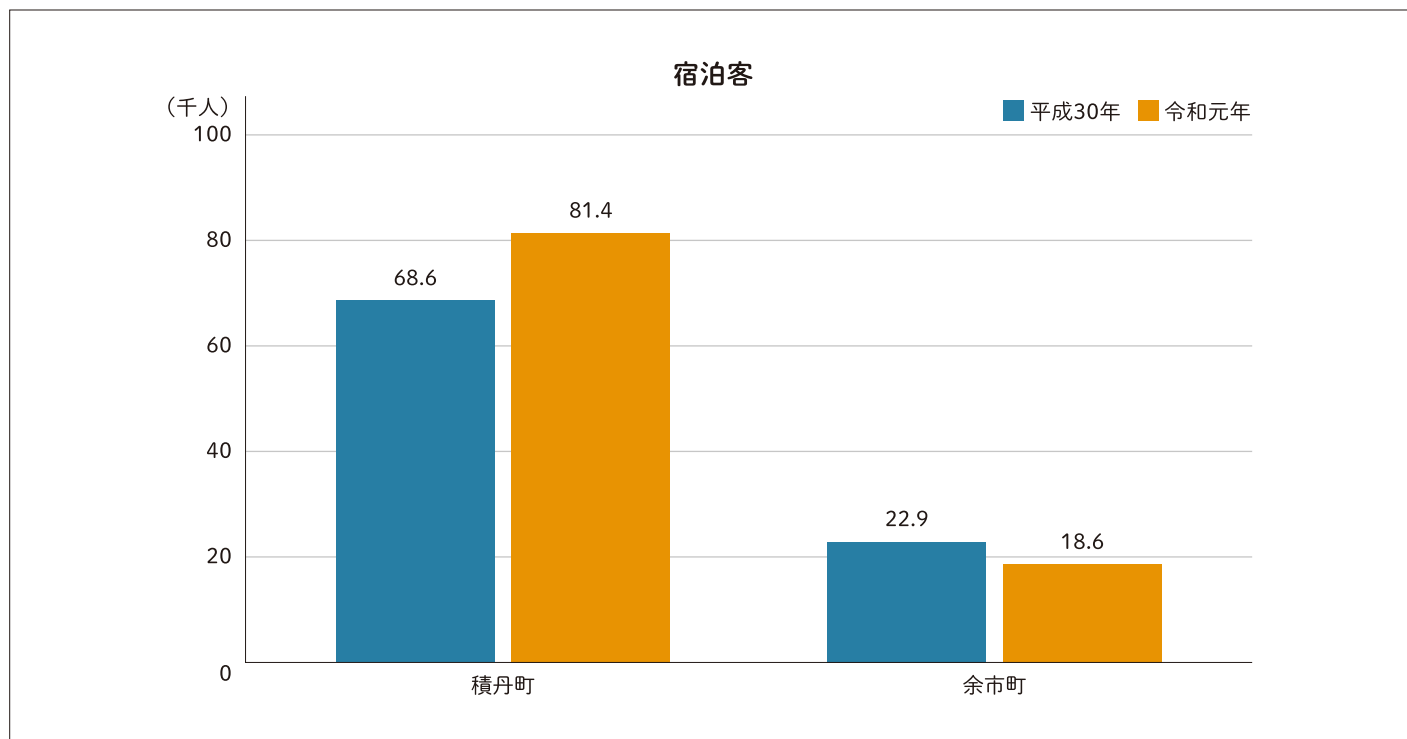


図 20 積丹町、余市町の宿泊客数の変化

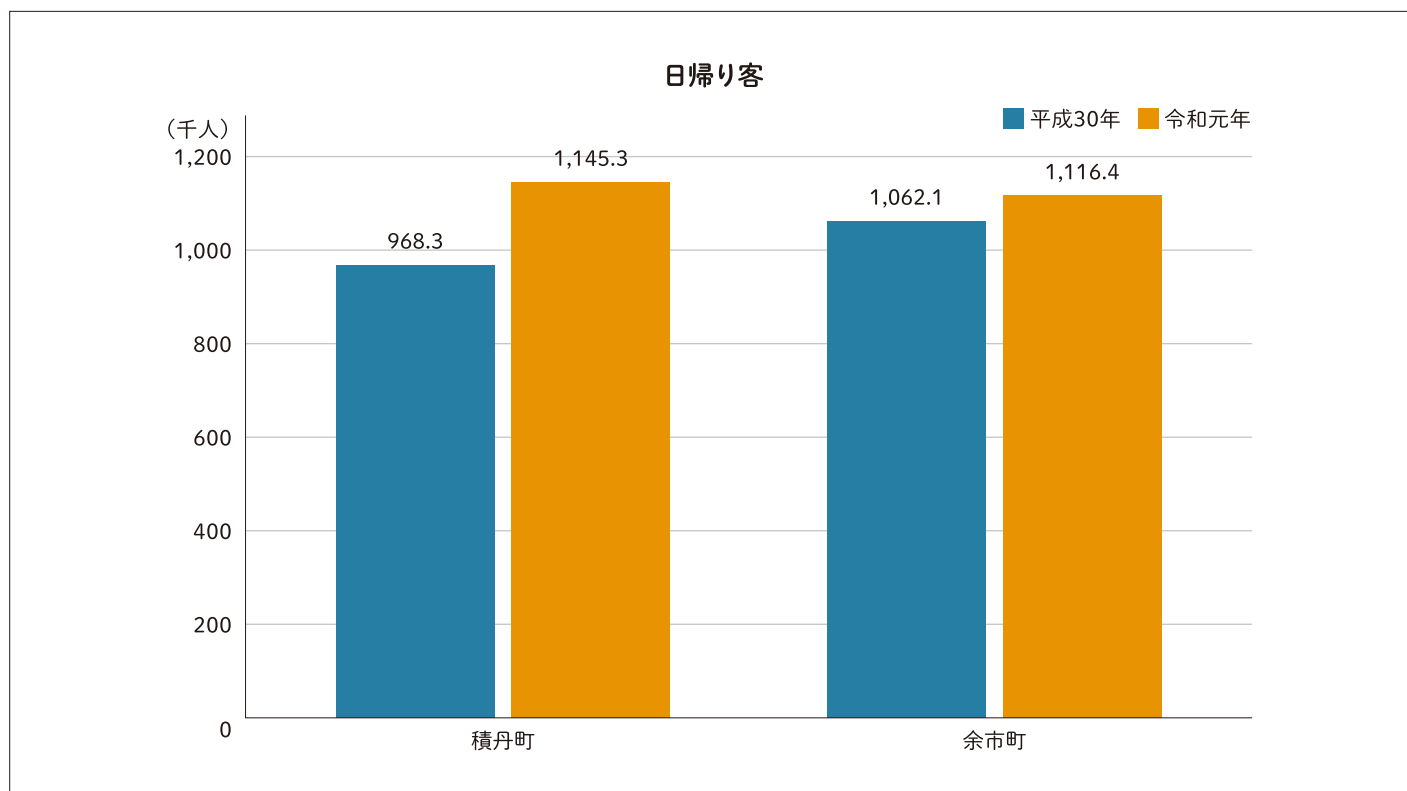
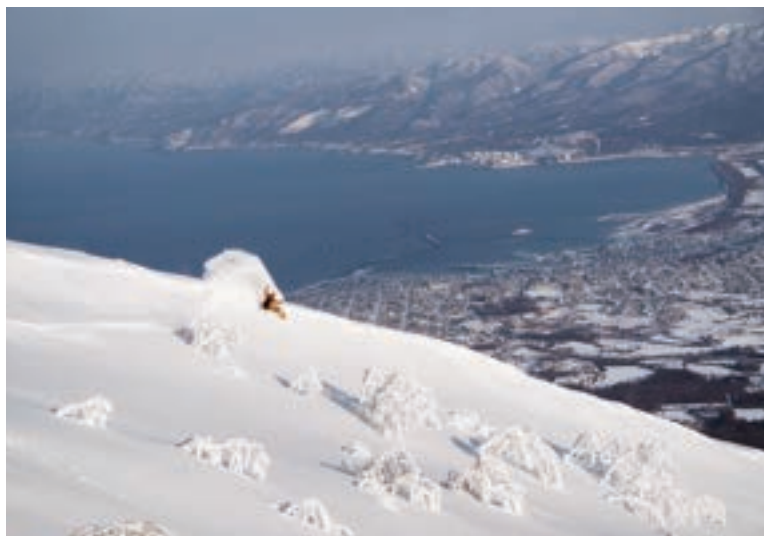


図 21 積丹町、余市町の日帰り客数の変化

出典：後志総合振興局管内観光入込客数調査データ



岩内町産業振興プラン

令和7年3月

発行編集：岩内町 建設経済部 観光経済課
TEL.0135-67-7096 FAX.0135-62-3465